



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会報

No.45 October 10, 2014

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

笑会話のスパイス

安藤 雅彦



僕がまだ駆け出しの国際マーケティング・コンサルタントだったころの、ウン十年前の物語。オランダ人のクライアント G と仕事をしたおり、お互いの身の上などを話すようになった。

彼は 40 台半ばで、自分と妻について“**We have been happily married for 20 years.**”と言う。なるほど 20 年間幸せに結婚しているのね、結構じゃないですか、と僕は素直に解釈する。ここまではドーッテことない。彼はさらに“**She has been happy, and I have been married.**”と続けた。「今日にいたるまで、妻は幸せで、私は結婚している」。なんじゃそりゃ？ なぜわざわざ **we** を **she** と **I** に分けて、**happily married** を分解するの？「女房は幸せ一杯にきたけど、わしゃ結婚にともない苦勞してきたのよ」と受け取れる。が、これは言葉の遊びで、会話に面白味を加えるスパイス。G は当時僕が婚約していたので、結婚に夢を持ちすぎないように (^ u ^)、警告したのかも。

このスパイスをどう応用するか考えてみよう。プライベートな状況で、“**happily married**”をそのまま使うケース。あなたの結婚記念パーティーで、“**We have been happily married for thirty years. I have been happy, and she has been married.**”と、ユーモアをもって「妻には苦勞をかけた」といたわる。

次に職場用に、動詞を入れ替えてみよう。たとえばあなたとあなたの同僚が 3 年間にわたり営業のコンビで実績をあげてきたとしよう。あなたは“**We have been happily working together for three years. He has been working, and I have been happy.**”と、同僚に花を持たせ、彼の苦勞を称える。普通は自分が幸せな方で、パートナーの苦勞をねぎらう使い方が無難だ。しかし **we** が上司と自分の場合などは、あえて上司を幸せ者にしたほうが、ゴマすりにならずスパイスが効いている（ただし、しゃれの解る上司専用 (^ u ^)）。

このようなスパイスは、ごく平凡でなんでもない表現であるが、使う状況により、会話にさりげなく可笑し味をつける。

僕のレパートリーの中には“**Would you like the other half of your drink?**”（飲み物のお代わりはいがかですか？）、**My son chose to arrive on New Year's Day.**（息子の誕生日は元旦です）“**May I ask you a private question?... Would you like another coffee?**”（個人的な質問をしてよろしいでしょうか？ [沈黙] コーヒーをもう一杯いがか？）**It's a big US automaker, who I can't name but whose name starts with F.**（それはある米国の大手自動車メーカーで、その名前は申し上げられませんが、F で始まります）等々がある。

第 45 回研究発表会

今再び Headline Jokes

—ジャーナリズムのみだしなみ—

草野 淳



発表の重荷も解けたある朝、くつろいだ気分で英字紙に目を通していたら、World's media speculation: Is Kim Jong ill? という見出しに思わず吹き出した。北朝鮮の Kim Jong Un (金正恩) の病気説が流れていたが、これは父親の故 Kim Jong Ill (金正日) にひっかけた音と文字のいたずら心だ。

こんな傑作があるから止められず、二番煎じを心配しいしい 4 年前の発表に続いて「今再び Headline Jokes」を引き受けてしまった。日本の新聞にも「高層用エレベーター日本製が中国で急上昇・・・」といった程度のジョークっぽさは散見されるが、英語メディアの headline になると、そのユーモアセンスは段違いである。

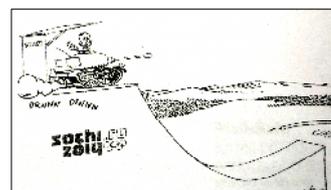
そこで毎日読む英字新聞から収集したものに、図書館に何度も足を運んで英字紙誌の山のようなバックナンバーから拾い集めた傑作を加えてざっと 40 本ほどそろえてみた。紙幅に限りがあるので、ここでは、その中からごく一部を取り上げておく。(日付けと引用元は発表資料に明記されているため省略したが、ここに厳選したのは大半がこの 1、2 年、米紙 New York Times 国際版や英誌 Economist などで見つけたものである)

強引な外交と独断的な政治行動の Putin (プーチン) 露大統領はジョークや風刺の好対象。

Putin his place とその座におさまりぶり

(put in his place) の姿を見事に揶揄している。またイラストで、プーチンが乗った戦車がソチ五輪のスキージャンプ台から一気に

「ウクライナ」に滑り降りようとするところを描き、How long



can Putin bask in the glow of Sochi? (いつまでソチの栄光に浴してられるか) と皮肉る。

A dog ate my e-mails という見出しには、懐かしい子供心を呼び起こされ微笑んでしまう。



宿題を怠った生徒が先生に「家の犬に食べられちゃった」と言い訳をする。そんな小話が昔からあるからだ。これは国税庁に脱税を指摘されたある企業家が当該機関の財務記録書類が紛失してしまった、とはぐらかしている話に付けられていた。

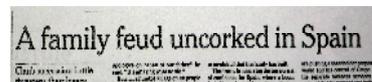
ローマ法王が新しく代わってもバチカンの腐敗は一掃されそうになく、New pope? No hope とひょうきんに語呂を合わせる。



カストロのキューバとアメリカが関係改善に動き出すと、キューバの国技が野球であることに引っ掛け、Playing softball in Havana とまず順を踏んでの巧みなヘッドライン。



ワインメーカー経営の内紛を扱った記事に A family feud uncorked in Spain



Spain とシャレているから、ワインの香りでもしてくるようだ。ワインでもう 1 本。イタリア



の新首相就任を祝うパーティーで、経済界の面々がグラスを合わせて乾杯している写真と記事に、

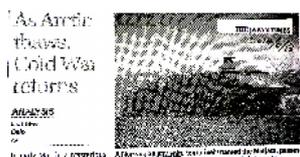
Raising a half-full glass to Renzi. この half-full という言葉は、half-empty と対で楽観、悲観を表すが、乾杯のグラスの中のワインは半分ほど注がれているものだから、新首相への期待がいまひとつ、の感が実に絶妙に伝わって来るのではないか。

タイの Yingluck (インラック) 首相が政権の座を引き降ろされて



Out of luck とは苦笑させられる。

地球温暖化で北極の氷が解けるにつれ As Arctic thaws, Cold War returns. 北極の海底資源をめぐる米欧とロシアの開発レースを展望する。thaw (雪解け) と Cold War (冷戦) の



2語で綾をつけているところなどはもうジョークの域を越えた格調の出来ばえといえるだろう。

ユーモアに満ちあふれた省き難い作品がまだ何本もあるが、最後の締めには、メキシコの石油産業民営化にメドがついたことを伝える記事を飾った軽妙なこの見出し Oil's well that



ends well この Oil's は All's に似て聞こえ、あの有名な格言「終わりよければ、すべてよし」だからだ。人さまのユーモア評価には手厳しい当会員諸氏も、これでなんとか笑いと拍手で応えてくれて発表は無事終了。ほっとしました。

蛇足ですが、高齢の方も少なくない会の皆様に、この

Oil's well・・・の粋な見出しに、私の迷訳を献呈して筆を置かせていただきます。

「よく老いれば、すべてよし」。

第24回 ジョーク・コンテスト

MCの記

長谷川 真弓



夏をまたいませいか、今回のエントリー数はやや少なめの14だったが、それぞれにんまりから爆笑まで楽しませていただいた。ホームページ上でジョーク・コンテスト結果をご覧になった会員以外の方から英語ジョークの客観的な評価を反映してないのではという指摘があったと聞くと、英語ジョークの理解の深さ、方向、幅が「英語人」と多少異なっても、この会はこの会なりの特色があつていいのではないかと思う。

まずは上位ジョークをご紹介します。なお今回も条件は30ワード以内、エントリーは一人一品。投票は2回。

第1位 11票 (笠井) Supplement No.14
At the psychologist:

-My wife does not like that I snore...

-So what would you like to get rid of, snoring or your wife?

いびきについて相談に来た人物の内面まで反映したレスポnding「おさらばしたいのはいびきですか、それとも奥様ですか？」が愉快である。

第2位 10票 (佐川) Supplement No.3

There used to be a married radio freak who was more concerned with frequency than with fidelity.

Radio と Marriage life の双方にかかわる frequency (周波数/回数) と fidelity (性能/貞節) のダブルミーニングによる英語ならではの面白さが効いていてランクインとなった。個人的にはこの作品にいちばんひかれた。

第2位 10票 (服部) Supplement No. 8
I am a one-drink woman, two at the most.

Three, I am under the table, and four... I am under the host.

「あたしアルコールは一杯しかだめなの。頑張っても二杯ね。三杯目ではぐでんぐでん。四杯目では行くところまで行っちゃうわ」。

カマトトの女のつぶやきの面白さが under the table (泥酔) と under the host (男遊び) の under のたたみかけで表現されていて英語ならではの魅力がポイントを集めた理由だろう。

大波賞 0→4 票 (岡田) supplement No.13

Apparently you have one foot in the grave if you find something striking your fancy and stop buying them thinking how long you might enjoy them.

最初の投票では0点だったが2回目でじっくり味わったところで思い当たるところが多く傾いたということか。残りの人生あと何年何日? 今それを買ってどうする? という問いかけにはジョークというより Reality でだれもが一様にドキッとしたのだろうか。

上位にはランクインされなかったが Supplement No.5 (小池) は解釈の広がりがおき、大いに沸いた作品だった。

We now sleep in separate beds.

Hers is in San Francisco, and mine is in New York.

「今じゃ別々のベッドで…」と聞けば冷え切った夫婦だとまず思う。そして2階と1階? かと思いきや、大方の予想に反してサンフランシスコとNY。こりゃ冷えたなんてもんじゃない、確実に離婚だと付きつけられるのだが…。実は大金持ちでセカンドハウスを大陸をまたいで所有しているという夫婦ということもあるという解釈の発展。

こんなところがこの会の楽しいところ。See you in two months.

WE, JOKERS No.45

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日: 2014年10月10日

発行人: 世話人代表 宮本倫好

編集人: 佐川光徳

問合せ先: jlcweb-renraku@eigojoker.com

第46回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時: **2014年11月15日(土)**
14:00~16:00
 - 会場: **日本近代文学館** (2階会議室)
(東京都目黒区駒場4-3-55、駒場公園内)
電話: 03-3468-4181
 - 交通: 京王井の頭線「駒場東大前」駅 (渋谷駅から二つ目) 下車徒歩7分。地図は、「日本近代文学館」のHPでご検索ください。
 - プログラム
総合司会=豊田一男 会員
 - ① 研究発表
「QUOTES VADIS」岡田茂富 会員
 - ② 第25回ジョーク・コンテスト
MC=今井真由美 会員
- 参加費: 会員・非会員とも **1,000円**
連絡先: jlcweb-renraku@eigojoker.com

第25回ジョーク・コンテスト出品募集

1. 語数は、**30 WORDS** を上限とします。
 2. 出題数は**お一人一題**までとします。
 3. 出品されるジョークは、かならずしも自作のものである必要はありません。むしろ、これまでの傾向としては、語数制限や節度規制に合わせて、お気に入りのジョークに手を加えて出品される場合が多いようです。
 4. 必要と思われる場合には、注釈・イラスト・写真などを添えてください。
 5. コンテストは、2014年11月15日(土)の第46回研究発表会で行われます。
 6. 結果は、*We, Jokers* No.46, Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
 7. 当日出席しない方も応募できますが、なるべくご出席をお願いいたします。
- 宛先: jlcweb-renraku@eigojoker.com
 - 締め切り: **2014年11月3日(文化の日)**